

周望学舎かわら版

発行
周望学舎
新聞編集
委員



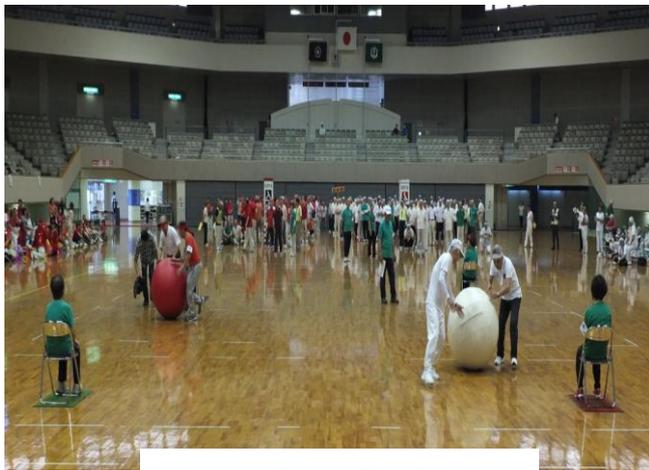
走った！ 踊った！ スポーツ大会！

六月二十七日（金）

初めてのスポーツ大会で！

陶芸コース 田中 洋

私は今年三月末で退職し、初めて周望学舎の陶芸コースに入学しました。陶芸コースでは四苦八苦しつつも同期生の皆さんと楽しく学んでいま



大玉ころがし～男の戦い～

すが、学舎での主な行事の一つであるスポーツ大会が開催されると聞き、われわれ高齢者が出来るだろうかと不安と少しの興味とを感じていました。大会当日、次の二つの事が印象的でした。

その一つは開会式での「研修生の皆さん、ゆっくりと立ち上がって下さい」の思いやりのアナウンスでした。もう一つはヨロヨロする人、転ぶ人、応援する人と様々でしたが、一緒にになり、大いに大会を盛り上げ楽しんで、前向きな皆さんであったことです。

スポーツ大会に参加して

書道入門 伊藤 信子

私は紅組。何もかも初めての参加、学生時代にタイムスリップ。君が代



玉入れ～女の戦い～

の国旗掲揚に胸がジーンとして涙が出そうになった。ナイスキャッチに出場、ドキドキとした。男性と手をつないで走るの、何年振りだろうか？よし、上手く出来た。引きずられるようにしてゴール！昼食の時古い歌が流れていた。AKBとは言わないが、昔の歌は年を感じさせる。みんなまだまだ若い頑張る力があるのだから。紅白みんな、怪我もせず頑張った！楽しかった！この様な大会に参加出来たこと、周望学舎の皆様、係の皆様のお陰だと感謝して家路についた。

スポーツ大会を振り返って

生活情報 中西 裕一

周望学舎、三大自然のトップバッターのスポーツ大会が六月二十七日、北九州市総合体育館にて賑やかにも厳かに開催された。

今年は、「生活情報コース」の実行委員としてどのように運営すれば皆さんにとつて楽しく、そして記憶に残る大会になるかと横断幕準備、オリンピックに負けない入場行進、競技者選出、昼食の弁当、コースの応援、全員で楽しむフォークダンス、炭坑節の練習等々万全の準備を行った。

尚、大会当日は競技に応援に、心配した怪我もなく楽しい一日を過ごすことができました。

このスポーツ大会で、生活情報コースの「絆」が深まった。「周望学舎、コースの皆様へ感謝」

- 玉入れの 勢い見れば まだ若い
- 肩を組み 玉を転がし

ラケットに 望みかければ

人生楽し

生活情報 木下 峯子

スポーツ大会を終わって

心と身体の健康 向田 和子

今年、創立三十五周年記念スポーツ大会に初めて実行委員になり、わからないままみんなの協力のお陰で怪我もなく無事終わり、ホッとしました。心と身体の健康コースは男性が七名だけで女性が多く、ペア競技はほとんど女性同士でしたが、心を合わせて頑張って完走。出場順の都合でラストランナーにコースの方がなる事が多かったが、一生懸命な姿に感動しました。大差で紅組に負けましたが、年齢を忘れて競技に応援にハリキル元気な先輩方を見習って頑張ります。



消防音楽隊カラーガード隊

地域ふれあいコース

地域ふれあい 木村 利盛

入学して早や三ヶ月、新たな出逢いの中で、三大自然のひとつ「スポーツ大会」がありました。私は「大玉ころがし」に出場しました。初めての事で、なかなかうまく行きませんでした。結構楽しく良い思い出となりました。

次に「大学祭」「修学旅行」と続きますが、コースの皆様との交流を大切に「生きがい」「ふれあい」「健康」を念頭に、色々な講義に日々感動しながら学習活動に励み学んだ事を、地域の皆様のお役に立てられる様、健康に努め、頑張るつもりです。

川柳 スポーツ大会

生活情報 柚木 美鈴

○うららかな気分は乙女舎に交じへ
周望学舎に合格し(二回目)、又この一年通うことが出来る喜びを詠みました。
○アリーナに熱気満ちたる競技かな
周望学舎スポーツ大会が盛り上がりつつある様子です。



スポーツ大会の次は

健康づくりサポーター 小野村 浩

周望学舎三大自然の先陣をきって、スポーツ大会が開催された。

実行委員の周到な準備と、毎度の健康ボランティアの協力により、最初のふれあいの場となった。年齢なりに頑張った研修生、消防音楽隊の演奏に和んだ。リレー競技は組数を増やし全員が参加したい。

昨今、大学祭・修学旅行の実行委員会が開かれ、催行計画を検討中だ。

大学祭の作品展示や、演芸など各コースは思案中である。修学旅行は目的地が長崎北部に決まった。宿泊研修も始まり絆は益々深くなる。コースによつては行事の度に、反省会と称して食べ飲み・カラオケと、更なる親睦が深まるだろう。研修の狭間の年間行事に期待満々のこの頃である。
新入生これからも楽しい。

周望文壇



○うぐいすの なきつた方を

ただ声のみが 遠く近くに

○紫陽花に たまれる水は 七色に

変わりもせずに ただの雨水

アジアを学ぶ 河村 実

○様々に 浮かぶ人生 春の夢

○夢二似の 友の姿や 春めけり

○氣に入りの 藍の単衣に 袖通す

長府散策にて H26.5.19

国際情報コース 原田 慧光

○千姫と いう名の菖蒲 紅灰か

○紫陽花を 活けて教室 華やげり

国際情報コース 近藤 孝治



○ダイエツト

やるわとポテトチップス俵に置き

○ボーリング

始めて気づいた 運動不足

○いい夫婦 長くは続かぬ 回想録

健康管理 岸本 繁勝

入学して三ヶ月

地域ふれあい 千手 眞哉



定年退職となり、さあ何をしようかと思案している時、妻が年長者研修大
学校のパンフレットを持って来て入
学を勧められました。早速詳しい資料
を送ってもらい、テーマにパソコンの
講義がある地域ふれあいコースに申
し込み、運よく(?)合格しました。
最初に驚いたのは入学式でした。穴生
学舎と合わせて九〇〇人超の入学者
の数でした。しかも皆さん若々しく滄
刺とされている事でした。私も負けな
いように先輩諸氏の教えを賜り学舎
生活を楽しみたいと思っております。



陶芸コースを受講して

陶芸 松田 良子

懇切丁寧なお且つ、口を酸っぱくし
ての説明も右から左。

先生方の意のままにならないのは、
私達。私の意のままにならぬは自分の
歪(いびつ)な陶芸作品。後は、餌を
待つヒナのごとく先生方の神の手を
待ち、そして完成。

早、三ヶ月が過ぎ微々たる進歩はし
ているなど自己満足。

この学舎の内容も知らず、陶芸があ
ると即応募。入ってびっくり多彩な行
事のある大学校でした。

先日、初めてスポーツ大会に参加し
和気藹々(あいあい)で多くの方と交
流でき、老化現象にならぬ老化減少を
期待する次第です。

最後に先生方、今後も気長にご指導
下さいますようお願い申し上げます。

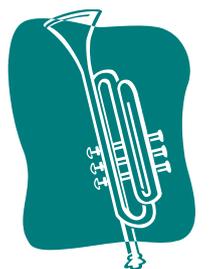
入学の動機

健康づくりサポーター 唐木 俊治

町内の方が、「退職して暇だろう。毎
日退屈だったら周望学舎って所がある
から行ったらどうか。」とパンフレット
を持って来て頂き、このような研修施
設を知りました。

二月に一日体験入学に出席させて頂
きました。午前中は、北九州大学の講
師による「心の健康」について心理学
を受講しました。その時の話術がすば
らしく、あつという間に時間が過ぎま
した。

午後からは、スポーツトレーナーの
運動による筋力のつけ方などの講義
後、ストレッチの実技を教わり、腰・
膝が悪い私は、こんなコースがあれば
研修をと思いましたが、資料を見ても
詳細は分からないし、「健康づくりサポ
ーターコース」だったらそのような研
修があるので



○蝸牛 吹奏楽器 抱いています

○団栗の 帽子が招く 小さき孫

○鷲羊を吸い込んでいるカメラマン

暮らしと環境 渡辺 サカエ

○つゆ空を 月下美人は うらめしく

歴史に学ぶ S生

○風の盆 幽玄の世に いざなはれ

心と身体の健康 松本 悦子

○夏の花 も一度見たし 亡き父母と

暮らしと環境 鈴木 範子

創立35周年記念

周望学舎大学祭

10月4日(土)
5日(日)



二年目の今
社交ダンス入門 山中 睦夫

今まで 周望学舎は高速道路から見える丘の上に立つ白い建物くらいにしか見ていなかったのですが、研究生の一生徒として昨年一年間を過ごすとは本当に自分の中の意識が変わってしまいました。スポーツ大会、大学祭、修学旅行とふりかえって早い事、初めの頃は先輩達の後で授業や体育館での運動等していましたがあつと言う間でした。二年目の今年は社交ダンス入門コースで男性陣が半分なので頑張らなければという気持ちで一杯です。三十年ぶりに又、小父さま、小母さま、の仲間に入って体を動かすのは楽しくおじじも大いにエンジョイしています。仲間の輪が大きく広がっています。背中を押してくれた家族に感謝です。早速OB会の連絡も入りました。昨友に会いにGO！行かなくっちゃ…

白黒の世界

書道入門 江口 博

書道入門コースでは、白い紙の上に黒い墨を使って豊かな表現が出来るよう学んでいます。(スポーツ大会コース紹介文から抜粋)。クラスは女性十六名、男性九名でセクハラ発言なんてありません。

学ぶ動機は暑中見舞い、年賀状を手書きしたい、静寂への憧れ、ボケ防止等色々です。先生のお手本をそっくり真似ればいいのに下手な個性が出すぎ、先生の見事な運筆に感動するばかりです。

六月のスポーツ大会を終え、その慰労を兼ねた懇親会で仲居さん曰く、「書道コースですか、カラオケ同好会では？」と。書道以外でもチームワーク良好です。

今後大学祭、修学旅行、修了記念作品展をクラス全員で盛り上げ白黒の世界に光明を見出したい。



火の山登山

健康管理 平田 斌生



めかり神社参拝後、昭和三十三年三月に開通した関門海底トンネル。エレベーターで一気に海底五八m迄降下、全長七八〇mの人道を約十五分掛けて歩く。そこは本州下関、みもす川公園到着。眼前に青く広がる関門海峡、ここが一番狭く、潮の流れも最も速く日本三大潮流の一つに数えられている(早鞆の瀬戸)。標高二六八mの火の山々道は常緑樹・椎・檜・杉の新芽・木々の芽吹きも見え、久し振の山歩き、五月晴の元、爽快そのものでした。山頂展望台で昼食、眼下に雄大な関門橋・響灘・周防灘・門司港を一望。世界に数少ない海底トンネル・源平の古戦場・昔日の面影を偲ぶ大陸貿易港等々、観光地として再認識させられ、楽しい一日の授業でした。

料理教室の一日

写真入門 角谷 茂

- 出姿を待つ間の吾は七変化
- 穴生までバス揺れ夏の令唱団
- 梅雨晴れやみんな盛力の料理室
- 満腹やタッパーに詰め夏の岐路
- こつくりと車窓眼下の夏景色



そうだ

修学旅行、行こう。

- 【一便】11月13日～14日
- 【二便】11月18日～19日
- 【三便】11月20日～21日



水無月の小めか雨の中、共に生きる

国際情報 中村 重一

風もなく、月もなし、澤の近くは、日もとつぷりと暮れ、真の闇、その中に佇（たたず）めば、

せせらぎが、闇を縫って小さく太く、コロコロカラカラと奏で、単調な響きを聴かせる。

目前には、水面をよるめきながら高く低く源氏螢の青白い光が這うように飛び交う。

向こう岸の草山には、源氏螢の大乱舞！今は五月雨の真つ只中、お洒落な紫陽花は、雨を浴びては、衣装替えて忙しい。

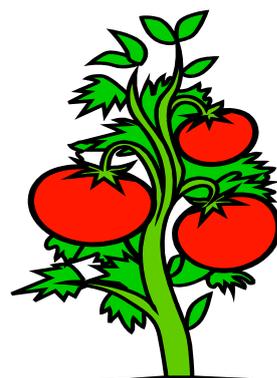
傍らには、雨にも傘要らず、雨は友のんでん虫だよ。紫陽花の葉に己の歩みを描きながら、鬱陶（うつとう）しい雨の日が好日、この虫にも命が通う。

○単句ふ せせらぎの奏（うた）

舞う螢

○わが道に 轍（わだち）をしるす

かたつむり



小さな歓びを求めて

ふるさとの文化 相馬 治佳子

三年前、花と野菜づくりコースを受講したのをきっかけに我が家の小さな庭は、ミニ菜園と花々を楽しませてくれる庭に変身！同時に野菜の収穫の歓びも！「梅に鶯谷ホーホケキョ」を夢見て植えた木にも、メジロ等の小鳥が飛来し、しばし休んで行く。この光景をご隠居さん気分で見め文才があればここで一句と洒落たいのだが残念。しかし良い事ばかりでなく大木化した木と雑草に悩まされ、虫に刺されて病院へ。でも負けず、ボケ防止の一貫として奮闘。自然を大切に自然と共存出来る歓びに感謝し、庭いじり続け、市民憲章にも書かかれていますように、美しい町作りを目標に元気で生き続けられたら最高だ。

モニュメント雑感

花と野菜づくり 上上 上

(うえがみ じょう)

過日、到津八幡神社に立ち寄るウォーキングに参加した。この到津の地名は、神功皇后の「三韓征伐」の故事に由来するという。又、到津八幡神社は古代より小倉各地を荘園領主として支配していたらしく古い歴史を有している。

奈良時代中期に藤原広嗣が惹起した『板櫃川の戦』の古戦場跡近くの急峻な石階段を上ると思いのほか狭い同神社の境内に到る。その片隅に『八紘一字』と大書した巨石が安置してあった。直下の公園には、昭和十六年十二月の日付の小さな石塔に『戦意宣揚』と刻んであった。

領土問題をめぐるヘイトスピーチの横行や『ネットウヨ』の過激な主張に偏狭なナショナリズムを感じる。さらに武器輸出の解禁、集団的自衛権行使容認を一方的にゴリ押しした政府の姿勢にそれらを助長させる危険な兆候を見る。そういう政治状況に二つのモニュメント(?) が不気味に感じられた。

今日思ふこと

暮らしと環境 進藤 菊枝

陰有れば陽 陽有れば陰
山高ければ 谷深し
陰を転じて陽 陽を転じて陰
難有り 即ち 有難し

若い頃学校で習った「陰陽の歌」が最近読んだ雑誌に載っていた。私はこの歌に力づけられ多くの困難を乗り越えて来た。歌には不滅の真理が潜んでいると思う。

現在、私は暮らしと環境コースで良き仲間と楽しく講義を受けている。「兎走鳥飛」の流れ速い。与えられた今と云う時間をしっかり生きたい。



ある出来事

歴史に学ぶ 矢野 晴義

桜並木、見上げれば時計台、学舎からの展望に感嘆し、通い始めて三年目となった。バスで赤い橋を渡り、JRへ、久し振りの朝の混雑を体感している。

バス停まで学童道路となっていて背に朝日を受けた学童たちとすれ違おう。「おはよう」、「……」、次の学童達に「おはよう」、「……」、声を掛けるも私の方を見つめられ返事がない。『変なおじさん』と思われる様だ。月日を経ると少しずつ元気な声が返って来る様になった。

夏のある日曜日の午後、近くの道で女子学童とすれ違う時、「コンニチワ」と声を掛けられた。「今日は、気を付けて！」と返すと、小走りに横を通りすぎて行った。学童から先に挨拶を受けたのは初めてである。年齢を重ねると何処で会ったのか思い出せない。おそらく通学路で会ってる学童に違いない。

明日は又、元気な声が聞こえる『変なおじさん』の登校日である。

絵手紙講座

10月17日(金)より
全5回



詩の一節

陶芸 K・O

トルコのある詩人の一節より
他人の欠点は夜のように隠せ
怒りといらだちは死のようにあれ
寛容と許しは海のようにあれ
人間社会で人との関連はのがれることはできません。
人を憎むことなく恨むこともせず人
生静かに穏やかに過ごしたい。



家庭菜園

アジアを学ぶ 伊東 義祐



退職後の暇つぶしにと始めた家庭菜園ですが今では生活の中心になっております。

自宅から車で四〇五分の所にある五十坪の畑で、水やり・除草・収穫等の為、毎日通っています。

食の安全が呼ばれる昨今、新鮮で安心して食べられることが一番です。又、畑仕事は身体を動かし、運動不足を感じることはありません。さらに家庭ゴミの六割が生ゴミだと云われていますが、これを堆肥にして肥料に使います。環境には大変やさしいのです。

これらのことを考えますと、まさに『一石二鳥』ではないでしょうか。何故か土に触れていると、心が癒されるような気がします。それでは行って来ます。

骨まで愛します

心と身体の健康 瀧上 篤也

万葉集に収録された大伴家持の歌四七九首の内、老女に贈った恋歌があります。

『百年に 老舌出でて よよむとも

われは厭はじ 恋は益すとも』

たとえあなたが百歳になりしまらぬ口から舌を出してよぼよぼになるうとも僕は愛するだろう

今よりずっと。

私には学生時代に交際した恋人がいりましたが、貴男のことは「心の伴侶」として一生忘れません、と言い残して去って行きました。

私は必至で捜しましたが駄目でした。そして三十八年ぶりに偶然にも再会しました。二人共ヤモメでしたから再婚し、還暦の歳で第二の人生をスタートさせたのです。

編集後記—学舎の緑林に蝉鳴き、

栗の実青む季節。各コースから多彩な原稿が寄せられ、かわら版第一号の発行です。皆様からの「意見お待ちしております」。